

LOVE in Letter 17

～輸血を受けた患者さんのメッセージ～

私は、「両大血管右室起始症」という先天性心疾患と、それに合併して「肺動脈狭窄症」という心臓弁膜症を持って生まれてきました。

この2つは心臓の形が通常と異なっているという病です。1歳の頃、その治療のために手術を受けた際、あなたの血液を輸血していただきました。そのおかげで、私は現在では、ごく普通の健康的な生活を送ることができています。

ですが、もし輸血がなければ、私は物心つく前にこの世から去っていたでしょう。楽しい思い出を1つも経験することなく、何もわからぬままに亡くなっていたでしょう。

子どもの頃、学校が終わり次第毎日のように友人と遊んだことや、大学で同じサークルに所属する仲間と旅行に行ったこと。そして、今手紙を書いているこの瞬間も、すべてあなたのおかげです。

手術を受けた時の記憶も病で苦しんでいた時の記憶も私にはありませんが、それでも、私が今を生きているのは、紛れもなくあなたのおかげなのです。

私に幸せな時間を与えてくれたあなたには、本当に感謝してもしきれません。

あなたが私にしてくれたように、私も誰かを助けられるような人間を目指して、生きていこうと思っています。

顔も名前も知らない赤の他人である私に命を与えてくださって、本当にありがとうございました。